

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	25240
事業名	北海道新幹線推進費					
評価担当課	所属名	政)総合交通計 新幹線推進担当				
	課長名	大野 直樹	担当者名	宮武 宏企	電話番号	011-211-2378
施策名	主	さっぽろ未来創造プロジェクト				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	建設事業の円滑な推進			
		長期	一日も早い札幌開業の実現			
	取組内容	一日も早い札幌開業の実現を目指し、建設事業の円滑な推進に向けた関係機関との協議調整、建設工事や発生土受け入れに関する地元理解の促進、国等への要望活動、機運醸成のための啓発・PRの実施など様々な取組を進めていく。				
実施結果	<令和3年> ・工事説明会 4回(札幌都心部、星置工区、札幌工区、桑園工区) ・手稲山口発生土受入地オープンハウス 2日間 ・手稲山口地域協議会 2回 ・啓発・PR活動の実施回数 5回 ・中央への要望活動 1回					
事業実施における工夫点	専門的なノウハウを有するコンサルタント等に業務を委託。イベントの活用や啓発品の作成・配布など、より多くの人々の目に留まるようなPR手法により、年間を通じて実施。北海道や沿線自治体等との連携により効果的に実施。					
対象者	札幌市民全般	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	全国新幹線鉄道整備法					
他都市の状況	・北海道：道内外におけるPRのほか、開業後もイベントを積極的に開催。 ・函館市：開業後も地元や沿線各地でイベントを積極的に開催。 ・全沿線自治体：鉄道・運輸機構と協力して、工事説明会、発生土受入地説明会を開催					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	2,623	15,000	2,534	23,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	3.5	3.2	3.2	6.1	
人件費	25,200	23,040	23,040	43,920	
計(事業費+人件費)	27,823	38,040	25,574	66,920	
事業費の内訳	令和3年度決算	パンフレット制作 694千円 その他啓発・PR活動費 51千円 事務費等 1,789千円			
	令和4年度予算	業務委託による啓発 6,600千円 地域協議会運営委託 6,000千円 発生土運搬路除雪対策費 5,750千円 パンフレット制作 1,420千円 その他啓発・PR活動費 419千円 事務費等 2,811千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	PR活動の回数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	10	25	5	30	
活動指標2	指標名	中央要望回数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	1	1	1	1	
成果指標1	指標名	札幌延伸の早期実現			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	2030年度末	2030年度末	2030年度末	2030年度末	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	鉄道・運輸機構とともに、手稲山口の市有地について発生土受入地とすることに関する住民説明会やオープンハウスを開催し、令和3年の6月に受入地として決定した。地域協議会も定期的に開催している。啓発・PR活動については、新型コロナウイルスの影響により令和3年までは低調だったが、令和4年度から徐々に再開している。中央要望については毎年確実に実施している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	各工事に伴う説明会は今後も実施していく。また、発生土受入地に関する地域協議会は今後も継続的に実施していく。開業まで10年を切っており、啓発PRについても継続的に実施していく。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	発生土受入地説明会、工事説明会は引き続き事業の実施主体である鉄道・運輸機構と協力して実施していく必要がある。 啓発・PR活動については、引き続き委託や北海道観光振興機構との連携により取り組んで行く。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	B	工事や発生土受入地に関して、関係者の不安を完全に払しょくする事は難しいが、今後も引き続き、安全対策等について説明や情報発信を行っていく。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応 <input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映		
今後の改善点	発生土の受入や工事に関し、さらに分かりやすい説明と情報発信に努めていく。 発生土受入地の地域協議会は今後も継続的に実施して地域との対話を図ることで円滑な受け入れを進める。				
前回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	手稲山口受入地で地域協議会を初開催し、地域と継続的な対話を図ることとなった。		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	手稲山口市有地は受入地として決定し、地域協議会も定期的に開催しているが、未だ全量の対策土の受入に必要な受入容量を確保できておらず、全量分の確保に向け引き続き取組を進めていく。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 受入地の全量分の確保に向け、鉄道・運輸機構とともに、引き続き取組を進めていく。また、工事の円滑な実施に向け、説明会等を適切に開催していく。			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 山口受入地の跡地利用や追加受入地の地域協議会に関する経費、円滑な工事に必要な発生土運搬路の道路除排雪費などが必要。		見直し効果額 0 千円	